

日本小児科学会医療安全委員会主催

第11回 Sedation Essence in Children Under Restricted Environment (SECURE) コースの報告

開催日：2019年11月2日（土）13：00～16：30

開催場所：北海道大学 医学部学友会館フラテ

〒060-8638 北海道札幌市北区北15条西7丁目

参加費：11,000円（1施設あたり）

参加者数：27名（8施設）

目的：「MRI検査時の鎮静に関する共同提言」を理解し、安全な環境整備に関わる人材の育成

参加者：医師10名、看護師9名、放射線技師8名

参加施設：北海道大学病院（2チーム）、社会医療法人 母恋 天使病院、釧路赤十字病院、苫小牧市立病院、市立千歳市民病院、江別市立病院、札幌医科大学附属病院、函館厚生院 函館中央病院

プログラム内容：

第1部（30分）：座学（共同提言の解説とオリエンテーション）

第2部（50分）：シミュレーション実習（実践型訓練と振り返り、他施設との比較検討）

第3部（70分）：アクションプランを立てよう（各施設の問題点と課題解決に関する協議）

第4部（45分）：発表・質疑応答（アクションプランの発表、全体で意見交換）

コースの実際：第1部は座学形式で共同提言の要点を伝えた。第2部は4グループに分かれて、シミュレーション/ディスカッション形式で行った。同一施設の医師、看護師、放射線技師が3人1組でシナリオシミュレーションを行い、振り返りの場で、自施設の課題や解決策を多職種/多施設で協議する場を提供した。第3部は、自施設の改善したい課題を1～2つ挙げて具体的な解決策の立案を目指すワークショップ形式で行った。ファシリテーターは実現性が高くなるように助言や討論の場を提供した。第4部は、各施設のアクションプランを中心に発表し、参加者全員で討議を行った。

アンケート結果：「コース全体の満足度は？」5.30（6点満点）、「安全な環境整備に対する意欲が向上したか？」5.44（同）、「多職種での参加は良かったか？」5.73（同）であった。参加者の声として、多職種/多施設で行う意見交換の場が非常に好評で、他部署での問題点など様々な気づきがあったと多数回答があった。北海道という特殊な状況下で地域として必要時にはMRIを行う施設を限定して集中させる可能性等過去の地域とは少しことなる提案があったことも新鮮であった。コース3か月後に事後アンケートを行い、アクションプランの進捗評価を実施する予定である。

コース運営と今後の取り組み：年間3～4回の開催を予定している。①第12回 SECURE コースは2020年2月～3月に東京で開催予定（関連施設の医療安全委員会及び小児科指導責任医宛に通知予定）②2020年春を目標に「MRI検査時の鎮静に関する共同提言」の改訂作業を開始している。③ SECURE コースの様子やアクションプランの実例を、学会ホームページ内の医療安全委員会のコーナーから閲覧可能となっている。

http://www.jpeds.or.jp/modules/guidelines/index.php?content_id=98